

平成30年度須原小学校の教育【グランドデザイン】

魚沼市の学校教育

1 温かい学級づくり

【達成目標】 hyper-QUの2回目の調査で、80%以上の学校を学級型で「親和的なまとまりのある学級集団」にする。

【具体的な取組】 ①全児童ヘリリーダーとフォロワーを体験させる。 ②児童の「自律性」を育てる支援を行う。

③「温かい学級づくり自校化プラン」をR-PDCAサイクルで着実に実践する。

2 学力向上

【達成目標】 アンダーアチーバーの出現率を16%（平均値）以下にする。

【具体的な取組】 ①「全員を連れていく（日々の）授業」を積み重ねる。 ②行事を含めた教科横断的な学習を行い、学習意欲を維持・向上させる。

③家庭学習を自律的に進めるため、計画を立てる時間を設定する。

3 不登校出現率の低下

【達成目標】 新たな不登校を生まない。

【具体的な取組】 ①温かい学級の中で、「居場所づくり」と「絆づくり」を実現する。②Q-U「学校生活不満足群・要支援群」や「前年度欠席10日以上」等の児童を把握すると共に、心配な兆候が見られる場合はケース会議を開催してチームで初期対応を確実に行う。

安全で安心して
学べる学校

いきいきとした
学び合いのある学校

教育目標
かしこく なおく たくましく
重点目標
自分を表現する中で、互いを信頼し合い、
主体的に学習する活力ある子どもの育成
(2年次)

家庭・地域とともに
つくる教育の充実

学び合い、高め合う
職員研修の充実

目的をもって学び続ける子

温かい人間関係を築く子

進んで体づくりをする子

【目標とする成果】

- ①web配信集計システムで、65回以上(4学級×2教科×10回) 県平均を上回る。
- ②Q-Uの学習意欲尺度で、全国平均を上回る。

学校の取組

- ①『須原小授業づくり10の観点』を基にした授業改善を行う。
- ②学習規律の定着を図るため、『須原っ子学びの手引き』を活用する。
- ③家庭学習の内容が充実するように、学年に応じた指導をする。
- ④読書の習慣が身に付くように、全校で週末読書に取り組む。

家庭の取組

○メディア宣言を各家庭で実践できるよう、家庭での学習環境・読書環境を整える。

【目標とする成果】

- ・Q-Uにおいて、学級生活満足群の出現率を70%以上にする。

学校の取組

- ①全校なかよしスキルタイムを実施する。
- ②Q-Uをもとに全職員で結果分析を行い、各学級の今後の対応策について検討し、全職員で対応する。
- ③Q-U後に児童一人一人と担任との教育相談の時間を確保する。
- ④職員終会時に児童の情報交換会を実施し、全職員で共通理解を図り、対応できるようにする。

家庭の取組

○よいところを認め、進んでほめる。
(あいさつ、言葉遣い、思いやる行動)

【目標とする成果】

- ①児童アンケート「休み時間や体育の授業、家などで、進んで体を動かしましたか」で肯定的な評価を80%以上にする。
- ②GUC(元気アップチャレンジ)カードでA評価を80%以上にする。

学校の取組

- ①遊び・ゲーム要素を踏まえた準備運動や導入を取り入れ、運動意欲を高める体育授業を推進する。
- ②遊ぶ・ゲーム要素を踏まえた運動を体育部として提供する。
- ③正しい生活習慣を身に付けさせるために、GUC週間を設定し、学級で事前事後の指導を全学級で行う。
- ④「正しい生活習慣を身に付けること」について、懇談会やたより等で保護者に伝える啓発活動を、学期に1回以上実施する。

家庭の取組

○メディア宣言、早寝・早起き、朝ごはんに取り組む。

魚 沼 市 温 かい 学 級 つ くら い 支 援 事 業

地域と学校の課題を共有し、解決に向けて地域とともに歩む学校を目指します！
学校支援地域本部事業

<家庭・保護者との連携・協力>

- 学習ボランティアとしての協力支援(教科学習、スキー、登山遠足など)
- 教育活動の周知と協力体制づくり(学校説明会、学級懇談会、たよりなど)

<地域との連携・協力>

- 学校応援団としての協力支援(クラブ、昔語り、読み聞かせなど)
- 関係機関との連携(スクールガード、見守り隊、須原スキー場など)

<中学校区での交流・連携>

- 守門教育振興会を柱とした取組
中：授業参観、あぶるま塾、あいさつ運動など
幼：交流活動、体験入学、相互参観

こども園・小・中学校連携目標「守門に学び 守門を愛し ふるさと守門を誇りに思う子ども」の育成